

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
神奈川県湘南東地域	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	平成 24～28 年度	平成 24～28 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 22 年度)	目標 (割合※1) (平成 29 年度)	実績 (割合※1) (平成 29 年度)	実績/目標※2	
排出量	事業系 総排出量	44,665 t	41,044 t (-8.1%)	50,108 t (12.2%)	-150.6%
	1 事業所当たりの排出量	2.2 t	2.0 t (-9.1%)	2.3 t (4.5%)	-49.5%
	家庭系 総排出量	153,865 t	155,003 t (0.74%)	149,343 t (-2.94%)	-397.3%
	1 人当たりの排出量※4	189 kg/人	173 kg/人 (-8.5%)	173 kg/人 (-8.5%)	100.0%
合 計 事業系家庭系総排出量合計		198,530 t	196,047 t (-1.25%)	199,078 t (0.3%)	-24.0%
再生利用量	直接資源化量	11,839 t (6.0%)	15,036 t (7.7%)	11,094 t (5.6%)	-21.3%
	総資源化量	62,670 t (28.2%)	70,809 t (32.0%)	64,929 t (29.4%)	31.6%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	41,765 MWh	31,699 MWh	43,477 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	11,326 t (5.7%)	9,787 t (5.0%)	7,483 t (3.4%)	327.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

※4 1人当たりの排出量 = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 22 年度)	目 標 (平成 29 年度)	実 績 (平成 29 年度)	実績/目標※3	
総人口	692,303 人	704,671 人	722,158 人	-	
公共下水道	汚水衛生処理人口	635,404 人	663,392 人	677,190 人	149.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	91.8 %	94.1 %	93.8 %	87.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0 人	0 人	0 人	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0 %	0.0 %	0.0 %	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	10,396 人	13,325 人	9,813 人	-19.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.5 %	1.9 %	1.4 %	-25.0%
未処理人口	汚水衛生処理人口	46,503 人	27,954 人	35,155 人	61.2%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	料金改定	構成市町	排出抑制、排出者負担の原則の継続を図り、適宜直接搬入ごみ及び事業系ごみの料金改定を図る。	H24～H28 (H24～H28)	(茅ヶ崎市・寒川町) 平成29年10月1日より一般廃棄物処理手数料を一部改定 (藤沢市) 平成30年10月1日より一般廃棄物処理手数料を一部改定予定
	12	環境フェア開催、施設見学	構成市町	環境フェアの開催や、・学校や地域での環境学習、施設見学会等を継続する。	H24～H28 (H24～H28)	計画どおり実施
	13	マイバッグ運動	構成市町	レジ袋を削減するため、レジ袋削減の啓発・マイバッグ運動の推進等に努める。	H24～H28 (H24～H28)	計画どおり実施
	14	エコショップ等	構成市町	ごみ減量やリサイクルを推進している店を認定する制度の推進に努める。	H24～H28 (H24～H28)	計画どおり実施
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別資源の追加	藤沢市	商品プラスチックの分別収集 (有害ごみ・危険ごみの分別)	H24～H28 (H24～H28)	・平成24年度より市内全域で商品プラスチックの分別収集を実施。 ・平成28年12月よりボタン電池、小型充電式電池の分別収集を実施。 ・平成25年10月より湘南東地域にて使用済小型家電のボックス回収を実施
	22	分別資源の追加	茅ヶ崎市	循環型社会形成推進のためのリサイクルセンター整備に伴う廃食用油、容器包装プラスチックの分別収集	H24～H28 (H24～H28)	・平成24年度より市内全域でプラスチック製容器包装類・廃食用油・金属類(指定10品目)の収集を実施。 ・平成25年10月より湘南東地域にて使用済小型家電のボックス回収を実施
	23	分別資源の変更	寒川町	剪定枝の分別の検討	H24～H28 (H24～H28)	・平成24年度より公共施設から出る剪定枝の資源化を実施。(一部実施) ・平成25年10月より湘南東地域にて使用済小型家電のボックス回収を実施

処理施設の整備に関するもの	1	仮称) 藤沢市リサイクルセンター整備事業	藤沢市	藤沢市リサイクルセンター施設整備	H24～H25 (H24～H25)	計画どおり実施
	2	北部環境事業所2号炉増設整備事業	藤沢市	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業		第3次～第4次計画で実施予定
	3	茅ヶ崎市環境事業センター基幹的設備改良事業	茅ヶ崎市	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業	H27～H28 (H27～H28)	総事業期間は平成27～29年度で実施
	4	し尿処理施設基幹的設備改良事業	藤沢市	し尿処理施設基幹的設備改良事業		第4次計画で実施予定
	5	浄化槽設置整備事業	藤沢市 茅ヶ崎市	浄化槽の設置整備費補助	H24～H28 (H24～H28)	おおむね計画どおり実施 実績基数は以下のとおり。 (藤沢市) H24: 61基, H25: 66基, H26: 42基, H27: 46基, H28: 34基 (茅ヶ崎市) H24: 26基, H25: 31基, H26: 1基, H27: 2基, H28: 1基
長寿命化計画策定支援事業に関するもの	31	茅ヶ崎市環境事業センターごみ焼却施設長寿命化計画策定事業	茅ヶ崎市	長寿命化計画策定業務(施設保全計画、延命化計画)	H24～H24 (H24～H24)	計画どおり実施
施設整備に係る計画支援に関するもの	32	北部環境事業所2号炉増設整備事業(事業番号2)に対する支援事業	藤沢市	基本計画、事業方式の可能性調査、生活環境影響調査、生活環境影響調査等	H27～H28 (H27～H28)	総事業期間は平成27～29年度で実施
	33	茅ヶ崎市環境事業センター基幹的設備改良事業に対する支援事業	茅ヶ崎市	基本設計(見積り仕様書作成、技術審査、最終発注仕様書作成)	H26～H26 (H26～H26)	計画どおり実施
	34	藤沢市石名坂環境事業所更新事業に対する支援事業	藤沢市	基本計画、事業方式の可能性調査、生活環境影響調査、生活環境影響調査等		第3次～第4次計画で実施予定

	35	仮称) 茅ヶ崎・寒川地域粗大ごみ処理施設整備に対する支援事業	茅ヶ崎市	旧炉解体事前調査・最終発注仕様書作成、粗大ごみ処理施設基本構想、粗大ごみ処理施設基本計画等	H27～H28 (H27～H28)	計画どおり実施
	36	藤沢市し尿処理施設基幹的設備改良事業に対する支援事業	藤沢市	土壌調査業務、施設整備基本設計、生活環境影響調査等		第3次～第4次計画で実施予定
その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	構成市町	ごみカレンダーへの掲載や関連団体・小売店などの協力による普及啓発の継続	H24～H28 (H24～H28)	計画どおり実施
	42	不法投棄対策	構成市町	夜間パトロールの実施やライトの設置、不法投棄防止看板、地元自治会等と連携による不法投棄防止の取り組みの継続	H24～H28 (H24～H28)	計画どおり実施
	43	災害時の廃棄物処理	構成市町	湘南東地域で災害時の対策についての協議をし、体制を構築	H24～H28 (H24～H28)	平成28年12月に湘南東地域を含めた平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町、及び秦野市伊勢原市環境衛生組合において一般廃棄物等の処理に係る相互援助協定の内容を見直し、災害時における相互援助を明記した。

3 目標の達成状況に関する評価

藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の湘南東ブロックは循環型社会形成推進をめざし、3R推進を行い、減量化・資源化を図るとともに、広域的かつ総合的に適正な処理施設を整備してきました。

(ごみ処理)

家庭系ごみについては、各市町における分別資源の追加を実施した事により、家庭系総排出量については平成22年度実績と比較し4,500t減少、1人当たりの排出量についても目標どおりの結果となっています。一方、事業系ごみについては事業系総排出量が5,500t増加、1事業所当たりの排出量についても、0.3t増加となっており、目標を達成できておりません。これは、事業系ごみの排出量については、大規模開発による大型店舗等の開業と事業系食品残渣を資源化する民間施設の廃業等が主な原因と考えております。なお、事業系家庭系総排出量としては、目標を達成していませんが、平成22年度実績と比較し、人口が増加したにもかかわらず、ほぼ同じ量となっております。

再生利用量における直接資源化量については平成22年度実績と比較し745t減少、総資源化量については2,259t増加となっておりますが、目標を達成できておりません。これは、茅ヶ崎市において剪定枝の資源化が計画どおり実施できなかったことが主な原因と考えております。

熱回収量については施設の改修により、目標以上の実績を達成しております。

最終処分量については目標以上の実績を達成しております。

このような結果より、平成28年度に策定した神奈川県湘南東地域循環型社会形成推進地域計画（第三次計画）において、新たな目標を定め、各市町にて減量化・資源化に係る施策に取り組んでいく事としています。特に事業系ごみに対しては、事業系一般廃棄物処理手数料額の検討を行うとともに、分別排出の指導強化等を行うこととしております。また、新たな資源化策として平成25年10月より開始した藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町における使用済小型家電のボックス回収等を継続実施することとしております。

(生活排水処理)

下水道整備地区においては下水道への転換推進、下水道認可区域外においては合併処理浄化槽の普及拡大を実施しており、概ね目標は達成できたと考えています。

(都道府県知事の所見)

ごみ処理については、地域計画期間内（平成24年度～平成28年度）において、環境フェア、施設見学及びマイバッグ運動などの各種施策を行い、住民の知識の習得及び意識向上を図り、家庭系総排出量及び一人当たりの排出量の目標を達成することが出来た。

また、熱回収量については、発電効率の高い施設での処理量を多くしたことなどにより、目標を達成した。

さらに、最終処分量については、これまで埋め立て処分を行っていた茅ヶ崎市環境事業センターの寒川町分の焼却残渣について、資源化の取組を進めたことなどにより、目標を達成した。

一方で、事業系総排出量については目標41,044tに対し実績50,108tであり、また1事業所当たりの排出量については目標2.0tに対し実績2.3tであり、目標を達成できなかった。これは、藤沢市内における大規模開発に伴う大型店舗等の開業や、これまで事業系食品残渣の資源化を行っていた民間事業者が廃業したことが主な原因であると考えられ、事情やむを得ないものと認められる。

また、再生利用量について、直接資源化量では目標15,036tに対し実績11,094tであり、また総資源化量では目標70,809tに対し実績64,929tであり、目標を達成できなかった。これは、茅ヶ崎市における剪定枝の資源化が計画通りに実施できなかったことが主な原因であると考えられるが、次期計画で引き続き検討していくこととしているため、改善が期待される。

今後も引き続き循環型社会形成に向けた取組を推進されたい。

浄化槽設置基数は着実に増加しており、循環型社会形成推進交付金の十分な活用により、生活排水処理の改善に寄与したと考える。今後も神奈川県生活排水処理施設整備構想を踏まえて、地域全体における生活排水処理率の更なる向上を目標として、積極的に浄化槽等の設置を図られたい。